

2024年2月16日  
東京二十三区清掃一部事務組合  
日立造船株式会社

## グリーンイノベーション基金事業 廃棄物・資源循環分野におけるカーボンニュートラル実現 ～ CO<sub>2</sub>分離回収を前提とした廃棄物焼却処理技術の開発 ～

日立造船株式会社は、グリーンイノベーション基金事業として国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）が昨年10月に公募した「廃棄物・資源循環分野におけるカーボンニュートラル実現」プロジェクトのうち「CO<sub>2</sub>分離回収を前提とした廃棄物焼却処理技術の開発」に「CO<sub>2</sub>高濃度化廃棄物燃焼技術の開発」を提案し、このほど実施予定先として採択されました。

<NEDO 公式 HP : [https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5\\_101724.html](https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101724.html)>

「グリーンイノベーション基金事業」は、「2050年カーボンニュートラル」の目標達成に向け、NEDOに2兆円を超える基金を造成し、官民で野心的かつ具体的な目標を共有した上で、これに経営課題として取り組む企業等に対して、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援する事業です。

本事業では「CO<sub>2</sub>高濃度化廃棄物燃焼技術の開発」をテーマに、排ガス中のCO<sub>2</sub>を高濃度化する廃棄物燃焼技術を確立し、廃棄物に含まれる炭素を高効率に回収するシステムの研究開発を東京二十三区清掃一部事務組合の協力のもと、品川清掃工場にて行います。

<東京二十三区清掃一部事務組合公式 HP :

<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/gijutsu/gijutsu/gijutsukaihatsu.html>>

当社は、1965（昭和40）年に日本初のごみ焼却発電施設を大阪市に納めて以降、グループ累計で国内外1,400件以上のごみ処理施設を納めております。当社はごみ焼却発電施設の普及を通じて低炭素エネルギーの供給に寄与すると共に、廃棄物燃焼排ガスのCO<sub>2</sub>を利用したメタネーションを世界初で取り組むなど、ごみ焼却分野におけるリーディングカンパニーとして廃棄物分野のカーボンニュートラルの実現に向けた技術開発に取り組んでいきます。

なお、本件の概要は次のとおりです。

1. 公募実施者：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
2. 事業名：グリーンイノベーション基金事業 廃棄物・資源循環分野におけるカーボンニュートラル実現
3. 研究開発実施者：日立造船株式会社
4. 研究開発テーマ：CO<sub>2</sub>高濃度化廃棄物燃焼技術の開発
5. 実施期間：2023年度～2030年度（予定）

【CO<sub>2</sub>高濃度化廃棄物燃焼技術イメージ図】

